

# 人権だより

(令和7年度 11月号)

川之石高校人権委員会 担当 2年次1組

11月は、人権・同和教育を学習する機会が多くありました。11月10日(月)の3・4時限目に、登口加代さんをお招きして人権講演会が行われました。また、14日(金)には人権・同和教育ホームルーム活動が行われました。それぞれ講演会や人権・同和教育ホームルーム活動での学びや感想をお届けします。

## 【人権講演会】

登口加代先生をお招きして、「人として～学びの力～」というテーマで御講演いただきました。登口先生は八幡浜市出身で平成15年、八幡浜市ふれあいセンター(隣保館)に主事として勤務され、平成26年に同センターの館長となり、ふれあいセンターで差別解消に向けた人権啓発・隣保事業に取り組まれています。10年ほど前から、自身の経験や学びを通して、想いや願いを共感していただける仲間を増やすため、県内外の小中学校・高校・隣保館や公民館に出かけ、講演活動をされています。



講演の最初にコロナ禍で言われていた3つの「密」の話があり、人権の視点で考えるうえで大切な密として「秘密」というものがあるとおっしゃっていました。息子さんや娘さんに起こった困難に向き合い、差別を乗り越えたエピソードを語っていただきました。最後に、差別はじっとしていてもなくなること、学びを繰り返し常に前を向いて生きていくことを強く語られていました。差別をなくすために私たちもこれから学び続け、差別解消に努めていきたいです。

## 【人権委員の感想】

○今まで人権について学んだり考えたりすることはあったが、登口さんのように自分の身近な人が差別に苦しんでいたら自分はどうか動くべきなのかを考え直したい。人権問題を隠さないといけないという考えの人まだまだ多くいると思う。隠さないでよいと思える世の中にするためにもまずは自分から知り、理解していく必要があると思う。現状から目を背けるのではなくしっかりと向き合える人になりたい。

○今回の講演を聞いて、今後大切にしたいことは、「正しいことを正しく学ぶ」ということだ。今の時代はインターネットで何でも調べることができ、正しい情報なのか、誤った情報なのかを自分自身で判断しないといけない。誤った情報を鵜呑みにすることで知らずに誰かを傷つけてしまうことがあるので、正しい情報とは何なのかを正しく学びたいと思った。

○「私たちは幸せを握りしめて生まれてくる」という言葉が印象に残っている。誰もが幸せになるために生まれ、幸せになる権利がある。自分を好きになれることは簡単なようで難しいことだ。どのような状況に置かれていても、自分らしく誇りをもって生きていくことは大切なことで、その生き方こそが他の人にも力を与えることができると思う。出会いから学び、人として成長していきたいと思った。

## ～2学期 人権・同和教育ホームルーム活動～

11月14日（金）の6限目に、2学期の人権・同和教育ホームルーム活動が実施されました。3年次生は、高校生活最後の人権・同和教育ホームルーム活動となりました。

### 1年次テーマ「自分の周りに目を向けよう」

1組では、バリアフリーとユニバーサルデザインについて学習しました。自分の生活場面の身近にユニバーサルデザインがあることを知りました。ユニバーサルデザインの普及によってすべての人が生きやすい社会になるための一歩だと思いました。

2組では、災害と人権問題というテーマで学習をしました。要支援者の支援の在り方や人権上の課題について考えました。実際に川之石高校が避難場所になったとき、高齢者や障がいのある方に対してどんな配慮が必要かをグループで話し合いました。



### 2年次「解放への歩みⅡ」……「解放令」～水平社運動～

2年次生は、各クラス共に解放令布告から水平社創立までの経緯を学びました。解放令には歴史的意義があったこと、しかし解放令が出た後もなお差別が残ったこと、そこで被差別部落の人々が水平社創立に向けて自ら立ち上がったことなどについて学びました。そして今の自分たちができることについて考えました。自分自身に誇りを持って、現在も残る差別に立ち向かっていく姿勢が大切だと学びました。



### 3年次「解放への取組Ⅱ」……結婚差別の解消に向けて

3年次生は結婚差別について学びました。結婚観やその形態が多様化する今日で、今もあるのが結婚差別です。授業の中では、事例で両親が相手の身元調査をし、結婚に反対するというシーンがあり、反対された子どもの立場やその友人としてどうするかについて考えることができました。差別はいけないことだという強い意志を持ち、差別をなくすことができるように学び続ける人になりたいです。



### ～川高祭募金のお礼とご報告～

11月7日に行われた川高祭にて人権委員会ではユニセフの募金活動を行いました。多くの人の御理解、御協力があり合計16,939円の募金が集まりました。本当にありがとうございました。この募金はユニセフを通して世界の子どもたちの命と健やかな成長を守るための支援に役立てられます。